

改ざん・ねつ造許すな！熱い注目・止まる足

森友・「働き方」緊急街頭演説

真相究明・内閣総辞職

大阪・兵庫 山下・宮本・辰巳・堀内氏訴え



大阪天王寺で



神戸・元町で

森友公文書の改ざん、「働き方」データのねつ造。国民の批判が大きく高まる中、10日、山下芳生副委員長・参院議員（比例予定候補）は神戸・元町大丸前、大阪・天王寺MIO前で緊急街頭演説。宮本岳志衆院議員、辰巳孝太郎参院議員（天王寺）、堀内照文前衆院議員（元町）も訴えました。いずれも熱い注目が寄せられ、「誰がやってんの？」「共産党か」と次々足を止めました。

山下氏は、森友問題について「与野党が一致して提出を求めた文書。改ざんは国会と国民を愚弄したものだ。内閣が吹っ飛ばすような大問題」と指摘。「佐川国税庁長官の辞任で済ませる話でない。佐川氏を長官に栄転させ、証人喚問要求に背を向けた安倍首相の責任は重大」とのべました。

宮本氏は佐川氏辞任について「国有地売却は何の問題もないと言い続けてきたが、私たちの論戦が勝利したことは明瞭だ」とのべ、辰巳氏は「文書改ざんは日本の民主主義の危機。真相究明、内閣総辞職を」と訴えました。

「働き方」改革問題で山下氏は、過労死したNHK記者・佐渡美和さんの第一発見者は婚約者だったことを「あまりに悲しすぎる。再び過労死を生んではならない」と訴え。ところが高度プロフェッショナル制度は、撤回した裁量労働制を上回る長時間労働を強いるものと批判。「年収1000万円を超える人が対象というが、基本給500万円、残業代を含め1000万円も対象。一部のエリートの人の話ではない」として「高プロ」制度の撤回を求めました。

堀内氏は「安倍政権を窮地に追い込んだのは、世論と野党共闘。総選挙の一票、一票が生きている」と述べました。

近畿いっせい宣伝

風雨つき 485カ所、支部2割、2200人

9日に行われた近畿いっせい宣伝は多くの所で雨にたたられましたが、485カ所で19.8%の支部、2200人が参加し、24000枚のピラを配りました。「ピラは普段の倍、40枚配れた。森友文書改ざん疑惑、働き方改革問題への関心が高く、共産党への期待を感じる」（京都・JR青谷）、「働き方改革に関心がありそうで、サラリーマンがピラを取りに来る」（奈良・JR京終駅）などの反応がありました。

●「改憲反対の署名ですよ」と確認して署名する女性。「安倍あかん」という声が以前より多い（大阪・豊中）「雨が残り急に寒くなった朝で人通りがいつもより少なかったが、にっこり微笑んでピラを受け取ってもらえるなど、少し反応がよかった」（神戸・三宮）



●清水さん「佐川辞任で幕引き許されぬ」 清水忠史前衆院議員は、大阪・京橋で「佐川国税庁長官の辞任で疑惑を幕引きすることは許されません」と訴え。帰宅途中の男性も「辞めて済むものとちゃうわな。国会議員に改ざん公文書出したんやから、国民をだましたと同じやからな」と憤っていました。

18年近畿ブロック事務所ニュース

Tel 06(6975)9111 Fax 06(6975)9115

No. 14(2018.3.12)